

2011年7月7日(木)

パートナー、支援者の皆さま

4月26日にお届けしたメッセージから、約2か月半経過しました。この間も私たちは、月に2-3回岩手を訪問し、さまざまな支援活動を続けてきました。

6月上旬には、岩手に駐在する調整員を2名派遣することができ、今後も7月中旬をめどに新たな駐在スタッフを派遣する予定です。

現在私たちは、物資の配布、建物の修復など、3月11日から今日までに行った支援活動のモニタリングを行っており、2011年8月までに完了させる予定です。また、これまでもさまざまな物資を提供してきましたが、最近では学校の制服に対するニーズの声を耳にし、7月中に配布できるよう準備を進めています。

皆さまご存じかとは思いますが、KnKは、岩手県教育委員会や7つの市町村の教育委員会と協力しながら支援活動を行っています。

8月には、私たちが支援している学校や、クラブ、スポーツチームなどのパートナーをリストにして皆さまにご紹介できるかと思えます。

また現在までの東日本大震災支援活動の会計報告は、7月末までに私たちのウェブサイトにて行う予定です。

皆さまの温かいご支援により、私たちは4月末に予定されていた始業式や入学式が無事に行われ学校が再開されるよう、可能な限りの支援を行うことができました。スクールバス、制服、通学かばん、教育資材などは、式に間に合うように提供できました。

現在モニタリングをすると同時に、私たちは支援の次なる段階に向けての準備を進めています。

ここでは、

1. コミュニティセンターやユースセンターの修復とその場所を使った様々な活動の再開
2. 心のケアプロジェクト(ニーズに応じて3つの活動を展開)
 - ソーシャルワーカー、エドゥケーターなど専門家との協力
 - ホットライン・プロジェクト(電話、インターネットなど)
 - 課外活動支援プロジェクト

現在進行中の支援活動

1. 教職員住宅の修復を行っている山田町では、5月初旬に最初の住宅施設の修復が完了しました。2つ目の施設の修復も7月末の完了を予定しており、さらにあと2施設の修復も進行しています。これら4棟の住宅施設が完成すると、15から18人の教職員と6家族分の部屋を用意することができます。また教職員の方々に提供した2台の車両は、学校への通勤などに使用されています。(サンゴバン社のご支援に心より感謝申し上げます)
2. 陸前高田市立第一中学校での合併浄化槽の設置も進んでおり、7月中旬の完成を予定しています。第一中学校自体は、少し標高の高い位置にあるため、津波の被害を免れることができました。しか

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち (KnK)

〒161-0033 東京都新宿区下落合 4-3-26 TEL: 03-6279-1126 FAX: 03-6279-1127

メールアドレス: kodomo@knk.or.jp ホームページ www.knk.or.jp

し、地域の浄化システムが損害を受け使用出来なくなっていました。現在第一中学校には、被災した別の中学校の生徒も通っており、1,000人以上の生徒を抱えているため、合併浄化槽など衛生面の整備が急がれています。(ヴァレオのご支援に心より感謝申し上げます)

3. 陸前高田市立小友小学校の体育館の修復は、現在状態の調査や修復の工程を検討しており、7月中に修復にかかる費用の見積もりを受け取る予定になっています。この修復は2011年の秋には完了し、児童たちが再び使用できるようになればと願っています。(リシュモングループ、ヴァシュロン・コンスタンタンのご支援に心より感謝申し上げます)
4. 小友小学校のプールの修復も検討していましたが、損壊が激しく修復が不可能と判断されたため、支援の中止を決定いたしました。
5. 陸前高田市小友地区のバレーボールチームへ、車両を1台提供いたしました。試合に参加する際などの移動用として使用されています。(車両を提供していただいた個人寄付者の方に、心より感謝申し上げます)

釜石市青葉ビル(コミュニティセンター)

釜石市の中心部には青葉ビルというコミュニティセンターがあり、津波により大きな被害を受けました。4mの高さのある天井まで水が到達し、窓ガラス、設置されていた家具、電気機器、水道、ガスなどがすべて破壊されてしまいました。建物の構造自体は損傷を免れ修復可能であるということは、まだ“幸運”だといえるかもしれません。

KnKは下記支援活動を行うべく、釜石市と覚書締結に向け調整中です。

- KnKは青葉ビルの全面的な修復を行い、その費用を負担する
- KnKは2011年3月11日以前にセンターで行われていた活動を再開する支援を行う(託児施設、地元のNPOの運営による障害を持った青少年のための活動、地元のNPOや市民団体のための会議室やワークショップ、図書館、など)
- KnKは、このセンターで子どもや若者を対象として、心のケアに関するプロジェクトやホット・ラインプロジェクト、課外活動支援プロジェクトなど独自の活動を展開する

釜石市への支援について、皆さまにうれしいご報告があります。フランスの化粧品会社であるロクシタングループから、この釜石市青葉ビルの修復に対し全面的な協力をいただけることになりました。

修復の予算やスケジュールは、今月中の決定を目標として検討を重ねているところですが、すでにあるイベントの開催が決定しています。10月に、KnKはこのセンターに桜の木を植えることができるよう希望しています。

その他のコミュニティセンターおよび専門家によるサポート

KnKは現在、被災地区全域で、サポート対象となるコミュニティセンターおよび、損害を受けた技術/商業/漁業関連学校を調査しています。再建計画の提出は9月に予定されています。実際の活動内容に関する詳細は、それまでに、決定されることになっています。

岩手県立山田高校からは、盛岡で開催されることになっていたインターンシップの研修会について、被災都市で開催することができないため、同会に必要な旅費および宿泊費を負担してほしいと依頼がありま

した。

心のケアプロジェクト

現在、被災した学校や仮設住宅でのニーズを調査中です。要請があればいつでも、ソーシャルワーカーや教育関係者をサポートし、複数の市町村でホットライン・プロジェクトを実行することが可能です。このプロジェクトは、ソフトバンクの孫正義氏からの支援により、実施されます。予算および実施スケジュールは、8月までに決定されます。

課外活動支援プロジェクト

心のケアプロジェクトの一環として、スポーツや文化活動、行事、野外活動など、あらゆる課外活動を支援するプロジェクトを実施します。実際に活動を行うのは、生徒、コーチ、教育関係者、および教師、または現地NGO、もしくはKnKまたは個人です。被災前に行われていた活動の再開、および新しい活動の開始が支援の対象になります。

現在までの支援対象

- a) 小友地区の現地バレーボールチーム:自動車および機材
- b) 宮古市の高校2校に所属するヨット部:エンジンつき救助艇2艘(6週間以内に配送、予算360~560万円)
- c) 山田高校ボート部:ボート6艘およびトレーラー(2ヶ月以内に配送予定、予算830万円)
- d) 図書購入を目的とした1,000円分図書カード配布(予算1,000万円)。7月開始
- e) 陸前高田市の現地NPO「みんつな」:支援を9月まで延長
- f) 「友情のライブラリー」:全国の子どもたちから送られた10,000冊の本の配布。7月開始
- g) 山田北小学校のグラウンド修復(予算約1,000万円)、今年末までに
- h) 「友情のレポーター」:KnKの活動地に、2名の子どもを派遣し、他の国で暮らす子どもと出会い、その経験を日本に持ち帰り、ビデオや報告会、展示会などの形で紹介する活動です。KnKは今年2回の友情のレポーターを企画しており、7月にはヨルダン、8月には、岩手県の子どもをフランスに派遣する予定です。

6月末に、フランスへの友情のレポーターとして、釜石と大船渡から一人ずつ、13歳と15歳の女子生徒が選ばれました。二人は、両親および担当教師の特別許可を得て、仏NGO“スクール・ポピュレール・フランス”(市民の絆フランス)が開催する大会議に出席し、世界各国から出席する子どもたちと友好を深め意見交換をすることになっています。その後、釜石市の姉妹都市である、南仏プロバンスにある小都市ディン＝レ＝バンに移る予定で、8月22日から29日までフランスに滞在します。

今年中に50以上のクラブを支援する予定です。

各サポーター、個人、団体、企業等と、岩手県にある最低1つのクラブをつなぐよう、最善を尽くします。

新規パートナーと一部実績(金額は概数)

- a) ソフトバンクの孫正義氏から、1億円の支援
- b) スウェーデンの企業であるトレルボルグ社から、50,000米ドルの支援(近く、さらに50,000米ドルの寄付がある予定)
- c) パリ・シャンゼリゼ劇場にて4月11日に開催されたコンサートで、200万円の支援

- d) ビンガム・マカッチェン LLP(米国)からの支援、1,985,000 円、同日本事務所から 718,000 円
- e) 北加日本文化コミュニティ・センター(米国)から、100,000 米ドル
- f) イタリアのバッグのブランドである、コルト・モルテド社から、5,611,000 円
- g) ほほえみプロジェクトから、4,833,000 円
- h) 日本 Amway 合同会社から、3,105,000 円
- i) ロクシタン社に、釜石コミュニティセンターの修復および活動再開の支援の意思確認
- j) プジョー・シトロエン社から新車の提供。7 月 8 日に岩手県に派遣する予定
- k) ジャパン・プラットフォーム第 3 次支援から、1,900 万円
- l) ブリュッセルにある EU の加盟国から、2,540,000 円
- m) KnK フランスを通じて、個人の篤志家から 100 万円

岩手への視察

- a) 6 月 14 日 ロクシタンジャポン社、社長ご一行 訪問
- b) 6 月 17 日 在日本フランス大使夫妻、山田、釜石、陸前高田を視察
- c) 7 月 13 日 ブリュッセルの EU 職員 訪問予定
- d) 7 月 13 日～16 日 パキスタンにある KnK のパートナー団体事務局長 ジャベッド・イクバル氏、訪問予定
- e) 7 月 22 日 フレッシュフィールズ ブルックハウス デリンガー外国法事務弁護士事務所スタッフ、訪問予定
- f) 7 月 26 日 イタリア企業 GROM のオーナー、訪問予定

KnK への支援を目的としたイベントその他

- a) 6 月 23 日 パリにて作曲家久石譲氏のコンサート
- b) 6 月 辻仁成氏作の子ども向け絵本の出版
- c) 「友情のライブラリー」プロジェクトを通じて、2010 年ノーベル文学賞受賞作家マリオ・バルガス・リョサ氏から、心温まる応援メッセージ。日本・カタルーニャ友好親善協会に御礼申し上げます。
- d) 6 月 7 日から 12 日まで、フランスおよびブリュッセルを訪問してまいりました。ロクシタン財団、EDF 財団、フランス財団、Secours Populaire Français、および EU の職員の皆様から暖かい歓迎を受けました。また、パリでは、久石譲氏のコンサート主催者の皆さんとお会いしてきました。

その他アジアでの派遣活動

5 月、6 月は、東京の KnK チームのメンバーが、カンボジア、フィリピン、バングラデシュ、ヨルダン、パキスタン、およびフランスを訪問してきました。

- a) **カンボジア**
協同組合(絹および裁縫)の建物が新築され、6 月末には使用可能となりました。(財団法人日本国際協力財団助成事業)
- b) **フィリピン**
マニラにある巨大スラム、パタヤスに、ほほえみプロジェクト支援による青少年センターを建築するために、土地を調査中。
岩手支援のための「1 ペソキャンペーン」実施中。
- c) **バングラデシュ**

協同組合用の3つの建物のうち一つ目の建物が、6月中旬完成。二つ目の建物の工事は、8月開始予定。

ほほえみプロジェクトの支援による、ストリートチルドレン救済のための新プロジェクトが、9月開始予定。

d) ヨルダン

新ウェブサイト：www.1001stories.asia/JOR/top.htm スタート。

e) パキスタン

「学校建築プロジェクト」実施中。KnK 現地パートナーFWA 事務局長、ジャベッド氏が、7月に岩手での活動地を訪問予定。合意が得られれば、9月に新プロジェクトを開始する予定。

f) 東ティモール

合意が得られれば、10月に新プロジェクトを開始する予定。

g) パレスチナ

合意が得られれば、9月に新プロジェクトを開始する予定。

最後に

去る6月、KnK Japanの支部を岩手県に開設し、「KnK 岩手」という名称で呼ぶことを決定しました。この支部が、岩手県の被災地およびその周辺で暮らすあらゆる人々、特に子どもや青少年に対する、われわれの誠実で友情のこもったサポートの証として受け入れてもらえればと考えています。

皆さんの温かく惜しみないご支援のおかげで、KnKは、来春まで、岩手県の被災者の方々に寄り添い、力を尽くすことができます。

心からお礼を申し上げます。

認定 NPO 法人国境なき子どもたち 事務局長
ドミニク・レギュイエ

* 本レポートは、7月7日時点の情報を元に作成されており、寄付金の使途につきましては、被災地の状況等により変更となる可能性があります。予めご了承ください。